

南富良野町

空知郡南富良野町

面積：665.53km²

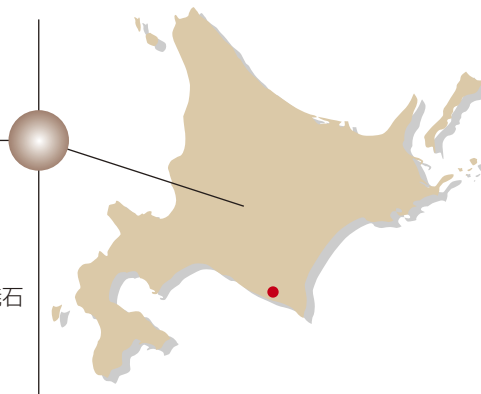
人口：3,250人（平成11年5月末現在）

町の木：クルミ 町の花：ヒナゲシ

町名の由来：アイヌ語の「フラヌ」（赤色の溶岩や焼石
がたくさんあるところの意）から転訛

ホームページ

<http://town.minamifurano.hokkaido.jp/>



南富良野町 振興課

鈴木 誠

地域振興係長

太陽と森と湖のまち

南富良野町は、北海道のほぼ中央に位置し、東西に貫流する空知川に沿って6つの集落から構成されています。第1次産業である農業が主体で、総面積の約9割が森林で覆われています。町のほぼ中央には、金山ダムによってせき止められた人造湖「かなやま湖」が豊かな水を湛え、「太陽と森と湖のまち」を象徴するように、澄んだ湖面に青い空と山々の深緑を映し出しています。

「金山ダム」とナチュラルリゾート

本町の歴史は、明治24年、砂金採取の人たちが、日高山脈を越えて金山に入り、茅屋を建てたのが最初であると言われています。同41年には下富良野村（現在の富良野市）から分離、隣町である占冠村との組合役場を経て、昭和7年には単独村、開村60周年を迎えた昭和42年に町制施行となり、現在に至っています。

「村」から「町」となった同じ年に、本町にとって歴史的な大変貌の時を迎えました。基幹産業で

ある農業発祥の地であり、農産物の中核地帯であった肥沃な農耕地が、金山ダムの完成とともに水没することになったのです。1,200人余りもの町民が離町を余儀なくされ、町は東西に分断されることとなりました。ダムによってせき止められた空知川は、やがて1つの集落をまるごと呑み込み、「人造湖」にその姿を変えたのです。

その後町では、長い年月をかけてこの「かなやま湖」を中心とした環境整備に力を注いできました。その結果、今では湖と山をバックにもつ湖畔キャンプ場は、その規模と設備の充実度において道内でも屈指の施設として注目を浴びるまでになりました。

また、このキャンプ場を核とする「森林公園」には、保養センターやバンガロー、スポーツ研修センターなどの宿泊研修施設や、テニスコート、ゴーカートコースなどスポーツ・レクリエーション施設が整備されています。平成6年には、全国でも初めてと言われるカラマツ大径木を使用したログホテル「ラーチ」がオープン。周辺には同じくカラマツ材を使用したコテージ

かなやま湖





夏はカヌー、冬は氷上ワカサギ釣りなどで四季を通じて楽しめる「かなやま湖畔キャンプ場」



ログホテル「ラーチ」
レストラン棟



カラマツ大径木を使用したログホテル「ラーチ」宿泊棟

9棟の整備を行い、かなやま湖周辺観光の拠点施設となっています。

さらに、本年5月には森林公園に隣接するカラマツ林の中にオートキャンプ場の一部がオープンし、湖を中心とする滞在型観光のさらなる充実を図っているところです。

本町は、「フラノ」「トマム」「サホロ」といった道内でも有数のリゾート地に囲まれていることから、観光客の通過点ともなっており、国道38号沿いには、建設省から「道の駅」の登録を受けている「南ふらの物産センター」を設けています。大型駐車場、公衆トイレを完備し、施設内の大型水槽には本町に生息し幻の魚と言われる「イトウ」の巨大魚がゆったりと遊泳しています。また、特産品販売コーナーでは、木彫品や農産加工品をはじめ多くの特産品が陳列され、行楽シーズンには大勢の観光客で賑わっています。

映画「鉄道員（ぽっぽや）」ロケ地



大勢の観光客で賑わう映画「鉄道員（ぽっぽや）」の舞台となった「幌舞駅」

昨年の秋には、高倉健さんが主演する東映映画「鉄道員（ぽっぽや）」のロケ地として本町が選ばれ、主たる舞台となる幾寅駅（映画上では「幌舞

駅）」を中心に食堂や理容店などのロケセットが突然出現しました。本年1月には大勢のスタッフや出演者の皆さんが来られて、連日寒風の吹きすさぶなかで撮影が行われ、6月には劇場公開が開始されました。

映画公開以降、ロケ地を一目見ようと大型バスや乗用車が押し寄せ、通学の高校生など数少ない乗降客しかなかった「幾寅駅」は、今や大勢の観光客やファンの方々に賑わっています。

雪の季節ともなると、アウトドアシーズンには多くのキャンパー達を魅了した「かなやま湖」は、湖面が氷結を始め、この時期を待ちわびた釣り人がワカサギを求めて凍てついた湖上にテントの花を咲かせます。また、ナイター設備が完備した町営スキー場では、全国大会でも優秀な成績を残している地元スキー少年団の練習が始まり、十勝方面からも大勢のスキーヤーやスノーボーダー達がやってきます。

もう一つ、冬のスポーツとして本町で盛んなものに、長野オリンピックで一躍人気を集めたカーリングがあります。全国的にも数少ない屋内カーリング場で毎日練習に励んでいる地元の子供たちは、全道・全国大会にも例年出場している優秀なジュニアチームです。

このように、南富良野町は、周辺的大型リゾート地に囲まれた人口わずか3,250人の小さな町ですが、夏はキャンプをはじめカヌーや釣り、ラフティング、冬にはスキーやスノーボード、ワカサギ釣りなど、四季を通じて自然を体感できるナチュラル・リゾートのまちとして注目されています。